

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	キッズサポートあるふぁ		
○保護者評価実施期間	R6年 11月 1日		～ R6年 11月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33	(回答者数) 29
○従業者評価実施期間	R6年 11月 1日		～ 年 月 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)
○訪問先施設評価実施期間	年 月 日		～ 年 月 日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)		(回答数)
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 1月 27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	幼児期における発達段階と個の障害特性を踏まえた支援	<ul style="list-style-type: none"> 指示理解、発達チェック、特性シート等のアセスメントツールを活用し、子どもたち一人ひとりの個性や障害特性を見極めながら、発達に応じた活動プログラムを用意し、可能な限り個別的な関わりに務めている。 アセスメント情報は職員間で共有し、支援方法の統一を図っている。 	<ul style="list-style-type: none"> アセスメントの精度向上のための研修等の実施。 他職員へ研修内容を周知したうえで実際の支援に取り入れる。
2	保護者支援	<ul style="list-style-type: none"> ライフサポートあおば利用の保護者を対象に、年2グループ(1グループ5名程度)、ペアレント・トレーニングを開催し、保護者の対応力向上を図っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所で提供している支援を実際に見ていただき、対応方法等を伝える機会を提供する。
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> 地域への情報発信。 地域住民との交流が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> 町内の回覧板を確認し、清掃活動等地域活動へ積極的に参加する。 避難場所となる学校への挨拶を行う。 事業所の広報配布を行い、地域の福祉ニーズを把握する。
2	事業所の設備	<ul style="list-style-type: none"> 利用児の活動場所が足りない。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用児童の課題に合わせた支援スペースの見直し、調整を行う。
3			

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表： 令和7年 3月 31日

事業所名 キッズサポートあるふぁ

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	50%	50%	・基準は満たしているが、活動エリアが狭く感じる。 ・多目的自立課題を活用している。 ・活動場所をわかりやすくするための構造化をしている。	・児童発達支援センターの基準を満たした広さではあるが、今後、移転も含めた検討を行う。
	2 職員の配置数は適切である	100%	0%	・児童が活動するエリアを職員全員で見守ることができている。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がい者の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	87%	13%	・知的障害・発達障害児向けの構造となっている。	・多様なニーズの受入れをするため、契約児童に合わせた環境調整に努める。 ・今後、移転等も含めた検討を行う。
	4 年 月 日	100%	0%	・利用児童に向けた遊具・玩具及びエリア設定をしている。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	100%	0%	・実地指導は行っている。 ・午後のミーティングを通して目標の共有や児童の様子共有ができています。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	・保護者との面談や見学をする機会が増えたと感じる。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	・HP・広報へ添付するなどして公表している。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	75%	25%	・財務について、税理士の指導を受けている。	・第三者評価の受審検討。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	・毎年、研修計画の立案・遂行の他、必要な研修へ派遣している。	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	100%	0%	・課題や強化子・指示理解のアセスメントを行い、日々の支援目標に活かしている。	
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%	・発達についてのアセスメントシートを使用している。（幼児期向け）	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	100%	0%	・個別支援計画に5領域の枠を設けている。 ・ケースカンファレンスにて児童指導員・保育士に向けた話し合いの機会を設け、質問を受けるなど、その内容について説明している。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100%	0%	・個別支援計画に基づいた目標設定をミーティングにて確認している。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	87%	13%	・行事の企画は担当が起案を作成し、稟議ののち、実施。	・稟議に要する時間の確保。（起案作成の早期化・ミーティングでの協議。）
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	・担当職員を月ごとに変えて行っている。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	100%	0%	・個別から集団に向けた支援を実施。 ・保育所等訪問支援との連携。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	75%	25%	・朝のミーティングで情報共有している。	・効率化及び内容の精査を行う。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	75%	25%	・午後のミーティングで情報共有している。	・効率化及び内容の精査を行う。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	・ケース記録やメモを記入し、次回の支援に役立てている。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	・支援会議を通して、支援計画の見直しが行われている。	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	・児童発達支援管理責任者が参加している。	・必要に応じて担当者の参加を検討。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	75%	25%	・保育園やあおもり親子はぐくみプラザとの連携。 ・保育所等訪問支援との連携。	・連携情報の周知。
	23	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0%	100%	（現在、受入できていない。）	
	24	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0%	100%	（現在、受入できていない。）	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100%	0%	・保育所等との移行会議に参加。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	87%	13%	・利用終了後にはなるが、4月以降に学校との情報共有を行っている。	・保護者の同意を得ながら実施。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	75%	25%	・他の児童発達支援センターと共に青森市発達支援事業所連絡会を通して助言や研修を行っている。	・不特定職員の参加を検討。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	13%	88%	・事業所単位での交流機会はないが、利用児童がほぼ保育所等との併用児であるため、個々の交流機会はある。	・公共の遊び場を利用する機会増の検討。
	29	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	50%	50%	・令和6年11月より、管理者が青森市障がい者自立支援協議会に参画している。（障がい児部会長）	・職員への周知。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	・口頭や連絡ノートで情報共有している。 ・保護者用のLINEも活用している。	
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	100%	0%	・ライフサポートあおば3事業所で実施している。	
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	・利用開始時に別紙等を用意し、説明している。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	100%	0%	・利用開始時、誕生日及びその6ヶ月後に面談機会を設定し、説明の上で同意を得ている。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	・利用開始時、誕生日及びその6ヶ月後に面談機会を設定し、説明の上で同意を得ている。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	87%	13%	・年に2回保護者懇談会を実施している。	・保護者同士の連携機会の設定。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	・児童発達支援管理責任者が相談に応じられることを伝え、希望に応じて時間調整を行い、対応している。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	・年に3回、発行している。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	100%	0%	・利用者個人情報保護マニュアルに沿って対応している。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	・保護者へはLINEを活用している。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	37%	63%	・地域のごみ拾い等に参加し、事業所の周知を行っている。	・地域住民の集まり等に事業所で参加するなどを検討する。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	100%	0%	・作成し、年度当初に配布・説明するとともに、保護者懇談会でも説明している。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	・BCP訓練を実施している。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	100%	0%	・利用開始時に調書にて確認するとともに、変化があった際は調書に記載している。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	50%	50%	・食物アレルギーの確認はしている。	・食物アレルギーがある方に対して、医師の指示書の提出を依頼する。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	87%	13%	・作成のルールがあり、提出後は1ヶ月以内に会議で対応策を検討している。	・作成ルールの定期的な確認。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	・年1回以上、虐待防止に関する研修を受講している。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	100%	0%	・身体拘束についての研修を、年1回以上受講している。	

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表： 令和7年 3月 31日

事業所名 キッズサポートあるふぁ

保護者等数(児童数) 33

回収数 29

割合 88 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	73%	17%	3%	7%		・法律上は規定を満たしている。 ・面談等を活用して事業所内を見ていただく。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	69%	0%	0%	31%	・本人に合わせた活動、また本人の課題やできることをしっかり見てくださっているとあります。	・面談等を活用して事業所内を見ていただく。
	3 年 月 日	90%	0%	0%	10%	・靴置き場にそれぞれ顔写真が貼ってあり、本人もわかりやすいと思った。	・本人に分かりやすい環境設定に努める。(構造化)
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	94%	3%	0%	3%	・参観日のような実際に活動を見る機会があればいいと思います。	・面談等を活用し活動の様子を見ていただく他、活動の様子を動画で撮影し見ていただく。
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、 <u>児童発達支援計画*2</u> が作成されているか	100%	0%	0%	0%	・療育での状態や保護者の希望をもとに作成されていると思いました。	・アセスメント力を強化し、今後もより良い計画作成に努める。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	97%	0%	3%	0%	・「発達支援」の中の人間関係・社会性の部分において、仲間づくりと集団への参加があまりない。	・個の発達段階に応じた支援を行っている。 ・支援プログラムについて説明させていただく。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	100%	0%	0%	0%	・指先を使う課題や着脱など子どもに必要な支援をしていただいています。	・計画・目標の共有を行い、助言を通して目標達成につなげる。
	8 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	79%	3%	0%	17%	・通い始めたばかりなのでまだわかりません。	・支援プログラムについて説明させていただく。 ・面談等を活用し活動の様子を見ていただく他、活動の様子を動画で撮影し見ていただく。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	48%	7%	7%	38%	・通い始めたばかりなのでまだわかりません。	・併用している保育園等が無い児童に関しては、交流する機会を検討する。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
保護者への説明等	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	100%	0%	0%	0%	・丁寧に説明していただきました。	
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	100%	0%	0%	0%		
	12 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング*4等）が行われているか	88%	0%	0%	12%	・ペアトレが本人のレベルと合っていない部分がある。	・実施後のアンケート調査や聞き取りを行い、効果を検証していく。 ・ペアレント・トレーニングは、行動理論の技法の学習、ロールプレイ、ホームワークといった学習が必要であるため、資料だけの配布は行っておりませんので、ご了承ください。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	100%	0%	0%	0%	・やっている内容を口頭でも伝えていただければなお良い ・毎日の連絡ファイルにこまかく丁寧にその日の様子を書いてくださるので状況がよくわかります。	・職員間で対応に差が出ないように丁寧な説明を心掛ける。 ・保護者の方の送迎の際は、なるべく行ったことについてお伝えしていくよう心掛ける。 ※対応した職員が送迎で不在の場合がありますので、ご容赦ください。
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	92%	4%	0%	4%		・要望に応じて年2回以上の機会を設ける。
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	76%	8%	0%	16%	・開催されているのはわかっているのですが、参加できず申し訳ございません。 ・保護者懇談会等の機会がこれからも定期的にあれば嬉しいです。	・年2回の実施を継続。
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	96%	4%	0%	0%	・相談に対してすぐにお電話下さり誠にありがとうございました。	・6か月以内に面談を行う機会がある他、相談の申し入れに対しては、日程を調整し実施している。
17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	92%	4%	0%	4%		・コミュニケーションのツールの活用など子に合わせた意思の疎通ができるよう対応している。 ・LINEを活用し、保護者との連絡を円滑に行えるよう整備されている。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
保護者への説明等	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	88%	0%	0%	12%		・連絡帳に行事の様子を記入する他、広報誌や定期的にブログを更新し、情報を発信する。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	96%	0%	0%	4%		・個人情報同意書に承諾されていても使用の際には、保護者へ使用の承諾をその都度得ている。
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	84%	4%	0%	12%	・午後の回なのでわからない	・マニュアルは整備されているため、保護者への周知・説明を行っていく。 ・一年のうち不審者1回、感染症2回の訓練を行っている。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	68%	4%	0%	28%	・午後の回なのでわからない	・ブログに行事予定を掲示する他、訓練の様子等を載せるよう検討する。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	80%	16%	0%	4%	・毎日楽しみにしています。ありがとうございます。	・お子さんの安心かつ楽しみを提供しつつ、課題達成に向けた支援を継続する。
	23	事業所の支援に満足しているか	96%	4%	0%	0%	・まだ数回の通所ですが、表現や出来ることが増え成長を感じています。	・支援の効果について、本人・保護者との共有を継続する。

*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶことで、子どもが適切な行動を獲得することを目標としています。